

リンパ増殖性病変のマイクロダイセクションサンプルを用いた多様な病変の解析

2000年1月1日から2018年6月20日までに手術を受けた患者さん

研究協力のお願い

当科では「リンパ増殖性病変のマイクロダイセクションサンプルを用いた多様な病変の解析」という研究を行います。リンパ増殖性病変とは、リンパ球、形質細胞などが病的に増殖する病変をさし、リンパ腫など腫瘍性や自己免疫疾患に伴う反応性ものなど広く含みます。マイクロダイセクションサンプルとは顕微鏡下でレーザーを使い、組織標本上の特定の細胞や組織など微小領域をピンポイントで切り取り採取、回収したサンプルです。この研究は、2000年1月1日より2018年6月20日までに日本医科大学付属病院にて、リンパ腫疑いなど腫瘍病変の精査加療目的で生検や手術を受けられ、検体が病理に提出された患者さんの病理検体および病理解剖検体を用いて、リンパ増殖性病変の多様な病変形成の機序を調査する研究で、免疫グロブリンの沈着、結晶化関連についての病態の検討を行います。

研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：リンパ増殖性病変のマイクロダイセクションサンプルを用いた多様な病変の解析に関する研究

研究期間：（西暦）2018年 倫理委員会承認後～2021年6月30日

研究責任者：日本医科大学 解析人体病理 寺崎 泰弘

(2) 研究の意義、目的について

悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などの形質細胞が異常増殖するリンパ増殖性疾患では免疫グロブリン (Ig) の細胞内外で結晶化沈着病変やアミロイドとして沈着病変を形成し臓器障害を来す病態がある。沈着病変形成のメカニズムを解明する為、マイクロダイセクションを用いて微量採取した結晶や形質細胞からのサンプルを使用してタンパク解析やタンパク解析から得られた病態関連候補因子の mRNA 発現量の比較検討を行い病変の多様性の解明を目的とする。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

日本医科大学付属病院にて、リンパ増殖性病変のために生検や手術を受けられ、検体が病理に提出された患者さんの病理検体および病理解剖検体を用いたリンパ増殖性病変の多様な病変形成の機序を調査する研究で、免疫グロブリンの沈着、結晶化関連についての病態の検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：診断目的で採取された生検病理組織、手術時に切除した病理検体、病理解剖検体

情報：年齢、腫瘍マーカー、画像所見、白血球、赤血球、血小板、凝固系指標、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学 解析人体病理 准教授 寺崎 泰弘

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：5254

メールアドレス：terasaki@nms.ac.jp